



静岡スバル 静岡県ライフセービング協会へ「ライフセーバーカー」貸与

～2025年度「交通事故ゼロ 水辺の事故ゼロ」活動スタート～

静岡スバル自動車株式会社（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：野澤三典、以下「静岡スバル」）は、「SUBARU フォレスター “ライフセーバーカー”」を認定特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会（本拠地：静岡県静岡市、理事長：文珠寺裕之、以下「SLA」）に貸与し、SLA が県内の水辺の安全を守る活動をサポートします。2020年より続く貸与を本年度も継続し、静岡スバルが掲げる「交通事故ゼロ 水辺の事故ゼロ」活動を展開します。

■夏の交通安全運動

7/11（金）9:10～9:20

「ライフセーバー、静岡県警清水警察署交通課の皆さまと交通安全旗持ち」@静岡スバル本社前^{※1}

静岡スバルでは、地域の皆さまと一緒に安全意識を高めたいという思いから、交通安全県民運動期間に社員が本社前・国道一号線沿いで交通安全の旗持ち活動を実施します。7月11日は、SLA 所属のライフセーバーの皆さまと静岡県警清水警察署の皆さまに参加いただき、「交通事故ゼロ」に加え「水辺の事故ゼロ」を訴えます。

※1) 天候によっては店舗屋根下で行う場合があります

■ライフセーバーカー貸与について

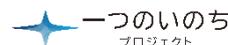
SUBARU フォレスターにラッピングを施し、ライフセーバーカーとして貸与します。本年度はさらに視覚的にわかりやすく「SURF PATROL」の文字を配したラッピングとなっています。

アウトドアユースにも適した SUBARU フォレスターは、横風が吹く海岸沿いの道や山道でも高い安定性を誇ります。運転支援システム「アイサイト」をはじめとした優れた走行性能は移動時の疲労軽減につながり、ライフセーバーの皆さまの活動を安全にサポート。また、大容量の収納能力を活かして AED をはじめとする救助機材を搭載し、7月～8月末まで、静岡県内の海岸をパトロールし、海辺の安全を守ります。

■静岡スバルの「水辺の事故ゼロ」活動

株式会社 SUBARU は「2030年に交通死亡事故ゼロを実現する」ことを目標に掲げ、安全・安心な SUBARU 車をお客さまのもとにお届けしています。ライフセーバーへのサポート活動は「いのちを守り輝かせるその思いに垣根はない」という思いから2020年にスタートしました。当初は静岡、神奈川、千葉の3県での取り組みでしたが、今では「一つのいのちプロジェクト」として発展を遂げ、全国の SUBARU で様々な活動が展開されています。

静岡県内の「交通事故ゼロ」を掲げる静岡スバルと「水辺の事故ゼロ」を目指す SLA との協働は6年目を迎えます。本年も交通事故防止啓発の協働に加え、社員、お客さまへの AED 講習を行う予定です。SLA と地域の皆さまと一緒に、静岡県が安全で過ごしやすい地域となるようお願い「水辺の事故ゼロ」活動に取り組みます。



株式会社 SUBARU と静岡スバル自動車株式会社は、公益財団法人日本ライフセービング協会のオフィシャルパートナーです

本リリースに関するお問合せ
静岡スバル自動車株式会社 営業支援室 ブランド・広報戦略課 山梨ルリ
TEL : 054-345-2132 Email : pr@shizuoka-subaru.co.jp